



ふるさと大野

令和8年2月26日

NO, 10

文責 宇田津

1月が行ってしまいました。しかし、英語教育研究発表会という確かな足跡が残った1月でした。「失敗を恐れずやってみる」、「学びを振り返って次につなげる」といった成果は、教科の枠を越え、もしかしたら生き方にまで影響を与えてくれるものかもしれません。そんな大きな期待をしつつ過ごした2月にも多くの学びがありました。

ふれあい読書研究会委嘱事業で電車旅！

1月31日(土)、大野小学校の子供達とその保護者が新八代駅に集まりました。「ふれあい読書研究会委嘱事業」とは、熊本県PTA連合会の委嘱事業の一つで、「本や活字に親しむ機会を作り、子供達の豊かな心を育てること」をねらいとしたものです。その背景には、「テレビやスマートデバイスの発達により情報機器に触れる機会が多くなり本や活字離れの現象をきたしている」ということがあります。本校PTAがこの事業を活用し、「みんなで電車に乗って、学校に置いて欲しい本を買いに行こう！」と、企画されました。



みんなで乗る電車、大きな書店、目にするものがワクワクを呼び、楽しい時間になりました。選んだ本は、みんなで読んで、読書の輪がさらに広がることを期待しています。

がんばりましたね持久走大会!!

暦の上では春の立春(2月4日)の日に、持久走大会を行いました。すっきりとした青空の下、これまでの練習の成果を披露してくれました。朝から忍者の森を駆け抜けるランランタイムに、明るい気持ちで向き合う子供達の走りは、とても力強く軽快でした。



息を乱しながらも目を見張る速さでゴールまで走り抜く姿、自分が設定したタイムを目標に黙々と走る姿、どちらも尊く、応援に力が入るものでした。がんばったからこそ得られる喜びや、走ることそのものの気持ちよさを大切にしてほしいと思います。時折顔を出す弱い自分に負け続けないよう、心の中の鬼を追い出して！

大切に使いましょう！

東海カーボンの久土さんと木村さんが来校され、地域への貢献活動の一環として、6年生には卒業記念のシャープペンシルを、全校児童にはFと10Bの鉛筆を届けられました。東海カーボン様には、夏にも熱中症対策飲料をいただきました。卒業生が残すタイムカプセルについてもご支援いただきます。子供達の健やかな成長を願う地域の方々の思いがありがたいですね。



薬物乱用防止教室(5・6年)



たばこの害は、昔から言われていますが、大麻グミ、オーバードーズ(薬の大量摂取)などと聞くと、対象となる物も増え、ぐっと身近になる感じがします。SNSの発達によって、遠い所にいる人や素性がよく分からない人とも簡単につながる事ができる今、子供達自身も身を守る術を知っておく必要があります。「1回だけ」「少しだけ」が通じない怖い

世界があることについて、警察署の方から直接お話を聞くことができ、貴重な学びの機会となりました。

不審者対策避難訓練

学校は安心・安全な場所でないといけませんので、水害や火災が発生した場合の対応を教職員も含めて訓練する機会があります。今回は、芦北警察署と大野駐在所のご協力の下、不審者が校内に侵入した場合の対応を行いました。子供達は、教職員の指示に従い、整然と静かに避難することができました。

あってはならないことですが、実際の場面では、もっと複雑で臨機応変な対応が求められるかもしれません。訓練の際の動きを基本として、とっさの場合に応用が利くよう、パッと避難のスイッチが入るような「けじめ」のつく生活場面を大切にしてほしいと思います。

何事も日常が大事です。何気ない立ち居振る舞いの中に、いざという時に役立つ要素がたくさん含まれています。避難に関して言えば、相手の目を見て話を聞くこと、集まった時には私語は慎むこと、号令には素早く気持ちを切り替えて対応することなどです。



「い・か・の・お・す・し」の言葉が入った定規と防犯ブザーを持ち帰っていることと思います。ご家庭でもこの機会に「もしも」の時の約束事を確認されてはいかがでしょうか。

追伸 いよいよ今年度も3月を残すのみとなりました。校庭の木々も少しずつ春へ向けての準備を進めているようです。別れと出会いのこの時期は、いつもせつなくもうれしい、いろんな思いが入り交じります。また1つ大きな節目をつくるために、みんなで今できること、すべきことに気持ちよく取り組んでいきたいと思ひます。

